

2026年6月11日
一般社団法人日本能率協会**社会インフラや防災に関する最新動向を紹介する専門展示会を開催****「九州 建設開発総合展 2026」
「九州 災害リスク対策推進展 2026」
「九州 インフラ保守保全展 2026」
「第1回 九州 土木・建設 DX/システム/ツール展」****2026年6月24日(水)、25日(木)、「マリンメッセ福岡」で**

一般社団法人日本能率協会（JMA、会長：中村正己）は、2026年6月24日（水）～25日（木）の2日間、マリンメッセ福岡 A 館（福岡市博多区）で、「九州 建設開発総合展 2026」「九州 災害リスク対策推進展 2026」「九州 インフラ保守保全展 2026」「第1回 九州 土木・建設 DX/システム/ツール展」を開催します。

出展者数は 59 社/73 ブース、来場予定者数は 10,000 名（同時開催展を含む）を見込んでいます。

現在、建設現場での人材不足や高齢化などの課題が顕著になっています。また、国内のインフラにおいては、構造物の老朽化や、近年増加するゲリラ豪雨、地震・台風などの自然災害への対策が喫緊の課題となっています。こうした課題を解決するため、「九州 インフラ保守保全展 2026」では、新エリアとして「橋梁・トンネル」長寿命化・DXゾーン、「水道管・ライフライン」更新・耐震ゾーン、「港湾・海洋インフラ」維持管理・防災ゾーンを設け、国土強靱化と長寿命化を支える最新技術を紹介します。

また、土木・建設業界でもデジタル技術を用いた安全管理や業務効率化が広がりを見せるなか、九州エリアで初となる土木・建設業向け DX・システム・ツールの専門展示会「第1回 九州 土木・建設 DX/システム/ツール展」を開催します。

※本展をご取材いただく際は、4ページの「プレス登録のご案内」をご参照のうえ、「取材お申し込みフォーム」から事前にプレス登録をお願い申し上げます。

日本能率協会の展示会

日本能率協会は、産業界の活性化に貢献することを目的に1960年に「第1回メンテナンスショー」を開催して以来、製造・インフラ産業から食・サービス産業まで、幅広い分野で展示会を開催しています。

現在は、東京・大阪・福岡・北海道の各エリアとオンラインで、年間約30本の専門展示会を実施しています。

国内外から参加し、人・モノ・情報が行き交う専門展示会は、多様な企業・産業・業界・国の垣根を超えた新たな出会い、つながりをつくる機会を創出しています。

年間スケジュール：<https://www.jma.or.jp/img/pdf/pdf-exhibition.pdf>

【 本件に関するお問い合わせ先 】**九州展 2026 事務局**

一般社団法人日本能率協会 産業振興センター内 担当：日下（ヒノシタ）

〒105-8522 東京都港区芝公園 3-1-22 / TEL: 03-3434-1988（平日 9:00～17:00）

E-mail：toshiken@jma.or.jp

【 報道関係の方のお問い合わせ先 】

一般社団法人日本能率協会 広報室 担当：植草

E-mail：jmapr@jma.or.jp / TEL：03-3434-8620

各展示会の概要

■九州 建設開発総合展 2026

まちづくりの現場を支える建設業界必見の総合展示会。社会インフラの老朽化や災害対策、人手不足などの課題に対応し、関係者の商談・情報交流を通じて持続可能な街づくりと建設業の生産性向上を目指します。

■九州 災害リスク対策推進展 2026

自然災害への備えと減災・防災技術を紹介する展示会。集中豪雨、地震、雪害、猛暑など多様な災害リスクに対応する製品・サービスを展示します。

■九州 インフラ保守保全展 2026

集中豪雨や土砂災害で明らかとなった社会インフラの脆弱性、老朽化対策として、検査・診断・補修・更新技術など、自治体やインフラ管理者向けのソリューションを紹介します。

■第1回九州 土木・建設 DX/システム/ツール展

土木・建設業向けの「DX/システム/ツール」に特化した一堂に会する B to B 専門展示会。BIM/CIM 関連製品・サービス、ロボット、遠隔作業支援、画像システム/カメラなどの業務効率化ツールを紹介します。

各展のみどころ（一部抜粋）

九州 インフラ保守保全展 2026



IBIS2

出展者名:九電ドローンサービス/Liberaware

ブース番号:AG-17

<https://www.kyuden-drone.co.jp/>

ーIBIS2 を活用した下水道管などの超狭小空間点検 ー
老朽化が進む下水道・管路・暗所など「人が入りづらい現場」の点検は、安全確保と省人化が急務です。展示ブースでは、九電ドローンサービスの現場運用ノウハウと Liberaware の狭小空間点検ドローン「IBIS2」および画像処理技術を組み合わせ、点検の効率化・安全性向上、データ活用（BIM/CIM 等）による点検 DX の進め方を紹介します。

九州 インフラ保守保全展 2026



出展者名:古河産業

ブース番号:AG-14

<https://www.furusan.co.jp/>

栈橋・橋梁・水路内の点検を無人で実現する水上モビリティサービスを紹介します。

電力、プラント、自治体などで実績のある機体の展示を行います。

コンクリート構造物の長寿命化を目指す中で人手不足や高齢化などで思うような点検ができないお困りごとはありませんか？

弊社のサービスで安全、省人化、省力化、効率化の実現を目指します！

九州 土木・建設 DX/システム/ツール展 2026



モバイルレーザースキャナー

出展者名:FARO INSIGHT

ブース番号:AE-23

<https://www.faro.com/ja-JP>

建設・建築現場の状況は刻一刻と変化します。施工が計画通りに進んでいるか、ミスはないか、関係者全員が同じ情報を共有できているかということは、工程を管理する現場監督者にとっては大変重要な問題です。FAROの3Dレーザースキャナーは、現場の3D点群データおよび写真を記録し、クラウドプラットフォーム Sphere XG を使ってすべてのデータを一元管理し、過去の状況やCADモデルデータと比較し、効率的に工程を管理することができます。

九州 災害リスク対策推進展 2026



ベアーガード

出展者名:ファシル

ブース番号:AF-06

<https://facil.jp/>

防災用品への関心が高まる中、近年では野生動物による被害対策も新たな課題として認識されつつあります。新商品「最新クマ対策」ベアーガード」は、光と音で人の存在を知らせる装着型アラートデバイスとして、新たな安全対策をご提案します。

九州 建設開発総合展 2026



パワーホイストマン
(充電ドライバー式小型ポータブルホイスト)

出展者名:象印チエンブロック

ブース番号:AG-22

<https://www.elephant.co.jp/>

新製品 小型ポータブルホイスト (パワーホイストマン 490kg) を展示。電動ドライバーで操作するだけで巻上げ・巻下げが手軽に行えます。また、チェーンブロックメーカーが製作する鉄道保線機器としてレールリフターを初出展致します。

開催概要

第6回 九州建設開発総合展



第5回 九州インフラ保守保全展

第1回 九州土木・建設DX/システム/ツール展

- ・名称：九州 建設開発総合展 2026/九州 災害リスク対策推進展 2026/九州 インフラ 保守保全展 2026/第1回 九州 土木・建設 DX/システム/ツール展
- ・会期：2026年6月24日(水)～25日(木) 10:00～16:00
- ・会場：マリンメッセ福岡 A館(福岡市博多区沖浜町2-1)
- ・主催：一般社団法人日本能率協会
- ・後援：国土交通省 九州地方整備局、福岡県、福岡市
- ・展示規模：59社/73ブース(4展示会のみ)、328社/625ブース(同時開催展を含む)
- ・来場予定者数：10,000名(同時開催展を含む)
- ・同時開催：九州 ホーム&ビルディングショー2026/第7回 九州 猛暑対策/第3回 九州 労働安全衛生展/九州・東アジア 国際物流総合展 INNOVATION EXPO 2026
- ・入場方法：完全来場登録制(※無料、下記 URL から来場登録後来場者バッジの発券と持参が必要です)
<https://www.ult-thunder.jp/kyusyu-homeshow-2026/visitor/fill-1>
- ・公式サイト：<https://mente.jma.or.jp/kyusyu/>
- ・出展者一覧：下記「WEBガイド」から出展者、出展製品をご覧ください。
<https://www.ult-thunder.jp/kyusyu-homeshow-2026/ja/navi/exhibitor/search>

プレス登録(取材のお申し込み)のご案内

取材にあたってはプレス登録が必要です。円滑な入場手続きのため、事前のプレス登録へのご協力をお願いします。

※プレス登録いただいた方には、「プレスバッジ」「取材に際してのお願い」をお渡しします。

プレス登録：「[取材お申込みフォーム](#)」からご登録ください。<https://www.jma.or.jp/press/>

『事前登録いただいた際の返信メール』のプリントアウトとお名刺2枚をご用意の上、
「プレス受付(会場入口横 主催者事務局受付)」にお越しください。

※プレス登録は、新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、Web媒体などの取材/編集/報道に関わる方が対象です。報道機関の広告・営業部門、広告代理店、マーケティングリサーチ会社の方はご遠慮いただいております(上記の方は、一般登録でご入場いただけます)。ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。

※講演・セミナーをご取材される際のお願い

取材される場合は、対象者の了解のもと行ってください。
講演に使用された投影パワーポイント、配布資料およびテキストなどの無断転載は固くお断りいたします。
講演内容を掲載する場合は、必ず講演者に許可を得てください。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。